



東日本大震災 3・11 から丸 3 年 東北 3 県で追悼式



岩手の復興状況を説明する多田副会長

3月11日は、東日本大震災から丸3年の月日が経ち、日本や世界各地で犠牲者追悼行事がおこなわれた。

サンパウロでも11日午後2時から岩手・宮城・福島 の3県共催で「大震災3周年追悼行事」が、宮城県人会で厳かに行われ、平日にも関わらず約130名が、被災犠牲者への黙祷や被災地の早期復興を祈願した。



開会の辞で千田岩手県人会長は、震災で命を奪われた方々の冥福を祈り、在住日系人にとって「ふるさとを思う心は一つ」、被災者が「当り前の生活」に戻る事を祈願したいと語り、続いて犠牲者に対し1分間の黙祷を捧げた。

佐野浩明首席領事は「遠く離れたブラジルで、3周年の追悼行事は、日本政府、国民にとってもありがたく心強い」と語った。

県連代表の川合昭秋田県人会長は、同じ東北人として私たちは、震災犠牲者や被災された方々の事を決して忘れません。「日本頑張れ！東北がんばれ！」とメッセージがあった。

「各県知事のメッセージ」岩手の達増拓也知事は、ブラジルはじめ世界各国からお見舞いや、義捐金や様々なご支援に改めて感謝致します。震災3年目を「安心・暮らし・なりわい」の3つの原則に基づき、復興の基盤づくりに全力をつくし、結果、災害廃棄物の処理に目途がつき、仮設から移転先となる敷地の用地約6割を取得。さらに水産業の水揚げ量は平年の7割まで回復。震災後一部運行していた「三陸鉄道」も4月には全線が復旧しますと明るい話題を提供。



県では「本格復興推進年」とし「ふるさと三陸創造」を実現



するため県民が一つになって参画します。と多田マウロ副会長が代読。ポ語訳も披露した。村井宮城県知事からは、災害廃

棄物の処理が本年度完了見込で、復旧に向けた成果を鈴木副会長が代読。

原発事故もあった福島県の佐藤知事は、「風評被害は根強い」。新たな産業の創出にも取り組んでいると、永山福島県人会長は知事のメッセージを披露。

宮城や岩手の復興状況のスライドを映写。岩手の映像は多田副会長が説明した。

小倉タダシ州防災研究員がスライドを使い、東日本大震災の教訓についての講演があった。

中沢宮城県人会長は「ブラジルと東日本大震災」と題しスピーチ。最後は参列者全員で復興ソング「花は咲く」を合唱。永山福島県人会長が参列者に謝意を示し閉会した。



大震災から3年被災地は今 陸前高田に巨大ベルトコンベア

2011年3月11日午後2時46分、東日本一帯を襲ったM9.0の大地震、続いて発生した巨大津波により、沿岸部は大災害が発生。死亡15,885名。行方不明2,623名、負傷6,148名、合計24,656名(2014年4月10日現在)の数字が出ています。

岩手県全体では6,018名。県南部の陸前高田市では、約1,800



名が犠牲になり、下の写真のように町の密集地は、跡形もないほどの被害を受けました。

あれからもう3年

目を迎えた。(1) 頁に記したようにサンパウロの岩手、宮城、福島 の3県共催で震災犠牲者の3周年追悼式



を厳かに行われ、参列者が被災地の復興を祈った。

いずれも被災地は復興に向けて、各事業が急ピッチで修復復興を急いでいるが、大工事のため人手不足、資材高騰のため入札不調が多い。住居は高台移転を余儀なくされたが、高台地取得も災害緊急土地取得法整備が整い、居住地問題も解決され

と思う。「陸前高田市」は、震災前後(写真上)のように、跡形も無くなっている。同市では浸水地区を高台地にするため写真左のように、気仙町の山林標高120mを40mまで切崩し、気仙川をまたぎ、全長3kmも張巡らせる巨大ベルトコンベア「希望の架け



気仙川をまたぐ「希望の架け橋」



橋・夢の架け橋とも云われる」が完成。砕石や土を「奇跡の一本松」付近に運ばれ、ここから「嵩上げ」地区にダンプで運びこむ。土の搬出量は



1日に1万立方mで工事のスピードアップを図る。

また復興を加速させる「生コン工場が完成」。プラントの月間製造能力は1万8000立方メートルで、製造したコンクリートは、気仙町市内の公共工事のみに供給する。主に防潮堤や水門整備に利用される。

でも工事周辺地は「埃」だらけですが、海沿いを離れると梅、桜、椿、水仙と春の花で心が明るくなると大和田さんが伝えられている。「写真・情報」陸前高田市HP、市内在住の大和田加代子さん(大和田さんは昨年被災地から県連が招聘・当会とも交流した)

3 ANOS DO HIGASHI NIHON DAISHINSAI

A cerimônia em memória aos 3 anos do tsunami, foi realizada no dia 11 de Março no MiyagiKenjinkai e foi organizado pelos Kenjinkais de Iwate, Miyagi e Fukushima. Estiveram presentes autoridades da comunidade Nikkey, representantes da Defesa Civil, IPT e também o Consul Adjunto Sr. Sano. Os governadores das 3 Províncias enviaram mensagem de otimismo que foram lidas pelos representantes dos respectivos Kenjinkais.



- 2月6日 IBC 岩手放送中村好子さんから「第3回いわて紅白歌合戦」ビデオの送付あり。
- 7 裨岩毅理事の母ふみえさん逝去の報。8日多田副会長夫妻、平野マリアさん会葬に出席
- 8.9 千田会長夫婦、平野夫妻で県人会旅行を計画しているカナネイア海岸（南に約250^{キロ}）を視察
- 16 2月度役員会開催。議題は主に本年度行事の日程調整など
- 17 県人会ニュース184号を約400部国内外へ発送
- 18 賛助会吉田会長と松本副会長へ豪雪のお見舞い電話を入れる
- 20 岩手日報社報道部専任部長 工藤哲氏より、要請のあった寄稿文「コッパドムンドを前に」と題した原稿を発信
- 22 多田副会長は日本語会話教室を開始。
- 27 県連代表者会に千田会長出席。議題 日本まつり、留研生実態調査、2013年度県連報告書、ふるさとめぐり、総会など
- 28日から5日まで国民のお祭りカーニバル開催。
岩手、宮城、福島県共催で3月11日行われる大震災3周年に対する、県知事のメッセージを国際課へ要請
- ☆ 県より平成25年度高齢者賀詞と記念品2名分届く
- 3月10日 岩手日報に掲載された「世界は今・県人レポート」のPDF版の送信が工藤哲報道専任部長からあった
- 11 宮城県人会で、岩手、宮城、福島県人会共催で、東日本大震災3周年追悼式を行う。130名程が参加
- 12/13、3・11大震災追悼式の新聞記事を関係者へ発信

- 23 裨岩毅理事の母親の49日法事に千田夫妻出席
- 27 県連代表者会・及び第48回県連定期総会に会長出席。執行部の一人に千田会長が第3会計に推薦指名された。交流会に多田副会長も出席
- 29 自閉症指導教育専門家である三枝たか子夫妻来館
- 4月1日 イーハトープ・トロント岩手県人会代表 菊池 幸工さんから先月サンパウロに滞在と、住所一部訂正を要請。次回は県人会に連絡とメール
- 2 県連執行部会に会長出席
- 7 県連作製「大震災被災者招聘現状報告会」のビデオを県庁、招聘者 - 大和田加代子さん（陸前高田市）へ発送
- 10 山中正二ベレン県人会会長来館。氏へ県知事からの「賀詞」を伝達
- 12 役員会開催 議題は4月の誕生会、5月-運動会、わんこそば大会、7月-日本まつり、会館整備など
- 18-21日は、パスコアーチラデンテスの連休でした
- 23 県連執行部会に会長出席 24 県連代表者会に会長出席
- 25 昨年県連が被災地から招聘した、陸前高田市の大和田加代子さんから諸活動のニュースあり
- 27 第54回会員交流誕生会開催。約60名が参加
和歌山県人会60周年式典に昆野会計出席
- ★ 青森県十和田市在住の坂上美奈子さんから、昔お世話になった紫波町日詰出身の「高橋幸太郎」さんの消息依頼あり

会費納入者名 (Anuidade Pagante)

(年額 R\$80.00 Anuidade de 2014)

- 1月 小崎敬子、石井克美、岩崎雄亮 (NY/ 賛助会員)、
- 2月 峰きよこソフィア、多田登、多田孝則マウロ、菊地義治、千田輝海、阿倍安忠、吉田みちこ、橋本敏郎、石崎一喜、和田司、中村健三、
- 3月 高橋凡児、佐々木寛一、裨田重雄、昆野昭仁ワシントン、昆野とし子、岩淵克明 (2013年・2014年)、佐々木ジョゼルス進、及川たけおアルツール、菊地満、大志田寿、千葉キク、中島悟、
- 4月 三枝たか子 (2013-2014 / 日本賛助会員)、平野マリア、山田幸孝、伊藤範夫、小関多田シルレイ、野村美津子、武田栄一、及川公雄、
- 5月 山田山口えつこ、松永通一、田口裕久 (2013/2014)、

ANUIDADES RECEBIDAS

Janeiro : Keiko Koaki, Ishii Katsumi, Yusuke Iwasaki (SC-NY), **Fevereiro** : Sofia Kiyoko Mine, Nobori Tada, Mauro Takanori Tada, Yoshiharu Kikuchi, Teruumi Chida, Yasutada Abe, Mitiko Yoshida, Toshiro.Hashimoto, Kazuki Ishizaki, Tsukasa Wada, Kenzo Nakamura, **Março** : Bonji Takahashi, Kanichi Sasaki, Shigeo Horota, Washington Akihito Konno, Toshiko Konno, Katsuaki Iwabuti (2013-2014), Jose Luiz Susumu Sasaki, Arthur Takeo Oikawa, Mitsuru Kikuchi, Hisashi Oshida, Kiku Chiba, Satoshi Nakashima, **Abril**: Takako Saegusa (SC-JPN 2013-2014), Maria Hirano, Yukitaka Yamada, Norio Ito, Shirley Teruko Tada Ozeki, Mitsuko

Nomura, Eiichi Takeda, Kimio Oikawa.

Maio : Etsuko Yamaguti Yamada, Mitikazu Nagamatsu, Hirohisa Taguchi (2013 e 2014),

来館者数 1月 349名、2月 322名、3月 405名、4月 384名、

図書貸出 1月 616冊 128名、2月 540冊 119名、3月 520冊 114名、4月 481冊 111名、

尋ね人 高橋幸太郎さん

岩手県紫波町日詰出身で、30数年前に単身移住されました。現在の年齢は80才近いとのこと。

青森県十和田市在住の「坂上美奈子」さんが、高校時代青森県三戸郡で高橋さんにお世話になった。8月25日から3週間ほどサンパウロを弟さんと訪ねるので、もし高橋さんの所在が分かればと県人会に問い合わせがありました。ご存知の方は岩手県人会までご一報願います。岩手県人会 TEL (11) 3207-2383

逝去 裨岩毅理事（故父勇平は現宮古市川井村出身）の「母・ふみえさん（81才）」は、病氣療養中のところ、去る2月7日逝去されました。

内海博氏（91才・昭和8年渡伯、母は江刺区岩谷堂出身）は、4月6日逝去の報。合掌

菊地さん 名誉市民賞

サンパウロ市議会から



野村市議から名誉市民賞を受賞する菊地さんとアミーゴス

3月24日夜、サンパウロ市議会に於いて、一関出身の菊地義治さん（写真右、サンパウロ日伯援護協会会長・岩手県人会名誉会長）に、野村アウレリオ市議推薦により「サンパウロ名誉市民賞」の贈呈式が市議会ホールで行われ、家族やアミーゴス（友達）約300名が祝った。

菊地さんは1959年19歳で「開発青年隊」の一員として移民船アルゼンチナ丸で来伯、パラナ州の訓練所で講習を受け、1965年サンパウロ市に移転し自営業として独立。当県人会の6代目会長として4期8年会長をつとめ、その傍ら福祉機関でボランティア活動に参加。現在サンパウロ日伯援護

協会会長2期目。

菊地さんは、「自閉症 児童 教育」の「学級、PIPA」設立や、日伯友好病院の運営に尽力。自閉症 児童に薬物を使わず自立支援するため、日本サイドに自閉症 教育専門家を要請し、青空学級を軌道に乗せ、SUS 病院建設などに尽した。

菊地さんは、称号と共に活動に携わった方々と分かち合いたいと挨拶。病気のため出席出来なかった妻マリーザさんに支えられたことに感謝を表した。菊地さんおめでとう！！

YOSHIHARU KIKUCHI É

HOMENAGEADO NA CAMARA MUNICIPAL

Yoshiharu Kikuchi, Ex-Presidente do Iwate Kenjinkai do Brasil e atual Presidente do Enkyo, foi homenageado e recebeu o título de cidadão Paulistano. A homenagem ocorreu no Salão Nobre da Camara Municipal



no dia 24/03, por iniciativa do Vereador Aurelio Nomura (PSDB).



県連第48回定期総会・新役員選出

3月27日、ブラジル都道府県人会連合会は新装されたホールで月例代表者会と、第48回定期総会が開催された。

議題は、2013年度事業報告、会計報告と質疑応答。2014年度の事業計画、予算案審議があり、それぞれが承認され、役員改選があった。

2期務めた園田昭憲県連会長（鹿児島）の退任の挨拶で、副会長も務めた6年間皆さんに支えられた事に謝意があった。

役員改選では、本橋鳥取県人会会長を県連会長とする連名シャッパが唯一だったため、会員多数の拍手で新役員が選出された。



新執行部は、会長・本橋幹久（鳥取）、副会長＝坂本アウグスト（栃木）、高野ジョルジ（山梨）、杉本教雄（静岡）、市川利雄（富山）、山田康夫（滋賀）、原島義弘（千葉）、木原好規（和歌山）、第1会計＝南アゴスチンニョ（福岡）、第2会計＝田呂丸哲司（熊本）、第1書記＝川合昭（秋田）、第2書記＝玉城道子（青森）、また、本橋新会長により、第3会計に千田曠曉（岩手）、第3書記に杉山エレナ（京都）が推薦され任命された。執行部世代の振分は、一世は7名、二・三世7名となっている。監査役投票では、正監査補充に大西博巳（広島）、監査補に尾

西貞夫（兵庫）、小淵民雄（群馬）、田場ジョルジ（沖縄）が選出された。因みに各県人会長の世代は一世24名、二・三世23名。

NOVO PRESIDENTE DO KENREN

Foi realizado no dia 27/03 a 48ª Assembleia Geral do Kenren, com a eleição da nova Diretoria para o biênio 2014-2015. O novo Presidente é o Sr. Mikihiisa Motohashi (Tottori Kenjinkai), em substituição ao Sr. Akinori Sonoda (Kagoshima Kenjinkai).

だい かい かい いん 第54回会員

こうりゆうたんじょうかい 交流誕生会



4月27日(日曜) 正午から恒例の「第54回会員交流誕生会」がおこなわれ、約60人が久しぶりの集会を楽しんだ。

千田会長は新年会後の種々活動では、3月11日に岩手、宮城、福島、福島の3県合同で東日本大震災3周年式を開催、被災地では徐々に復興加速年へ向け前進。県の海外担当部署が「環境生活部若者女性協働推進室」に移動になったことが伝えられた。



千田会長(左)から「賀詞」を贈られた藤村副会長(写真右上)へは4月10日來館のおり伝達したことを



とを伝えた。アチバピアの及川公雄氏から沢山の切りバラの提供を受けテーブルを飾った。藤村副会長の音頭で乾杯し、会員持寄りの料理で昼食会をおこなった。

席上、JICA草の根基金派遣自閉症教育専門家の、三枝たか子ご夫妻を(写真右)紹介して挨拶をいただいた。

ビンゴでの数字合わせに会員は一喜一憂し、多くの賞品が配布された。



1月から4月生まれの誕生祝いでは、ケーキを囲み20数名が会員からお祝いを受け、会から気持ちだけの記念品が贈られた。

また、最後にカラオケ愛好者が自慢ののどを披露し、午後4時散会した。



ニューヨークで「東日本大震災追悼式」



3月9日の午後、ニューヨーク、マンハッタンのニューヨーク日系人会館で、東北6県と北海道の県人会で構成される「ほくほく会」

主催の「東日本大震災追悼式」が行われた。在ニューヨーク総領事、草賀純男大使を迎え、被災地である、岩手、宮城、福島の各県人会の会員を中心に約100名が出席した。

毎年、各被災地の現状レポートを行うことが恒例になっており、今年も岩手県人会の藤島誠さんが、陸前高田市の吉田和子さんから寄せられた、コミュニティカフェ「りくカフェ」などの活動内容、現地の復興状況を、および度々ボランティア

支援で陸前高田市を訪問している齊藤美夏子会員からの現状報告をし、福島県人会の小川佳世子さん(猪苗代出身)が、県内各地で進められている復興への取り組みの報告を、宮城県人会の堀江貴さんは、宮城県荒浜宝蓮院住職、丹野峯稔さんにスカイクで現地の様子を伝えてもらった。また、北海道ゆかりの会会員で「道走会」を主宰する山崎綾子さんは、被災地支援のための「道走会」の活動報告をおこなった。

14時46分、岩崎雄亮NY岩手県人会名誉会長の音頭で、お亡くなりになった犠牲者の皆さんへの1分間の黙祷を捧げた。

第2部も恒例となったコンサート。出席した人たちは故郷の復興を願いつつ、阿部公美さん(相馬出身)のピアノ、宮崎信子さんのフルート、東日本大震災を機に結成された混声合唱団ジャパン・コーラル・ハーモニー「とも」の歌声に耳を傾けていた。



日本語教室再開 (会話)

新来者にポルトガル語会話も



多田マウロ副会長は、2月22日(土曜日)から、若い人に日本語教室を再開した。授業は、以前山田町の松本トミさん(元教師)から寄贈され

多田マウロ先生と九名の生徒たち



た教本を参考に、やさしい会話や基本的な日本語で、同じような言葉の意味が違うことを説明している。

また、日本からの新来者に、ポルトガル語会話の不自由な方に日常に使う会話講座も開始した。

AULAS DE JAPONÊS AOS SABADOS

Jovens interessados na cultura e no aprendizado do idioma Japonês, reúnem-se aos sábados a tarde para aulas de conversação. As aulas começaram no dia 22/02.

第3回いわて紅白歌合戦 県人会からメッセージ

2013年暮の12月28日、岩手県民ホールで「第3回いわて紅白歌合戦」がIBC岩手放送により公開生放送された。



司会の菊池幸見(当会50周年を取材)奥村奈穂見アナウンサーの開会宣言で、中学生太鼓、小学生の「あまちゃん主題歌」のファンファーレがあり、達増拓也県知事など審査員の紹介があった。

男性歌手は福田こうへい(キャプテン・盛岡)、三浦わたる、中村貴之、アンダーパス、山上衛(民謡)、ゲスト宇佐元恭一、女性歌手は大沢桃子(キャプテン・大船渡)、白澤みさき、みやさと湊、金澤美咲、藤岡祐衣(民謡)、ゲスト水田竜子。

出演した福田さん、山上さん、中川愛子さんは、昨年当会55周年やパラグアイ・NYなど、郷土芸能使節の一員として来伯、本場の民謡民舞・歌謡と皆さんを楽しませて頂いた。



福田さん最初の曲は「風やまず」を唄い菊池アナが、昨年福田さんはブラジルでも唄ったことを紹介。県人会の千田会長・会員の一同のメッセージを紹介。「去る8月県人会55周年やパラグアイ各地、イグアス県

人会50周年創立式典で、郷土芸能団皆さんと今話題の人「福田こうへいさん」に式典を盛りあげて頂きました。

「こうへいさんの『南部蝉しぐれ』は、多くの歌謡ファンに大変親しまれ唄われております。紅組、白組ど



ちらも一年の唄い収め、精一杯唄い飛ばして下さい。「頑張れ! いわて紅白!!」と披露。

山上さんは中川愛子社中の皆さんが応援で舞い「南部よしやれ節」を披露した。(山上さんは中川さんのもと3年間修行、昨年全国民謡6大会すべて優勝した)



男性最後は、福田さんの大ヒット曲「南部蝉しぐれ」を唄った。さて、勝負は赤組白組と熱唱したが、赤組の審査員得点が多く逆転。達増知事から赤組キャプテンに優勝トロフィーが贈られた。岩手にもプロ歌手が多いことをしらされた。(福田さんは4月に新曲『峠越え』を発売しヒットしている)

3° KOHAKU UTAGASSEN DE IWATE

Este Kohaku nasceu após a catástrofe do tsunami com objetivo de dar apoio e incentivo ao povo de Iwate, principalmente elevar sua auto estima. Realizado pela IBC Television no dia 28/12/2013, com apenas cantores profissionais de Iwate, o Kohaku deste ano chegou a sua terceira edição, com destaque para o cantor Fukuda Kohei, que esteve presente no nosso evento de 55 anos de fundação.

Fukuda Kohei foi o capitão da equipe Shirogumi e 3 dias depois no dia 31/12, fez a sua estreia no famoso Kohaku Utagassen da NHK.



北上市の伊藤さんら農業視察



前列左から、高橋さん、千田会長、伊藤さん、千田夫人、
後列左から、八重樫さん、菅野さん

3月2日(日) 岩手県北上市和賀町の皆さん3名を、高橋凡児相談役が伴い来館した。

一行は、伊藤栄喜さん(賛助会員・来伯3回目)、菅野一政さん(せいぶ開発農産の生産部農産課長)、八重樫一孝(同農産の大豆、小麦担当主任)で、アルゼンチン・パラグアイはピラボや、イグアス移住地など大豆栽培などを視察研修し、地域県民との交流を計った。

ピラボ(西館世公県人会長)では、北上市の「鬼剣舞」が継承されており、伊藤さんも「鬼の面」を贈ったことから、西館会長から国際貢献で感謝状を贈られた。

サンパウロは高橋さんの案内で地方を視察。市内は日本移民史料館を見学し、県人会で千田会長夫婦、多田副会長と懇談した。

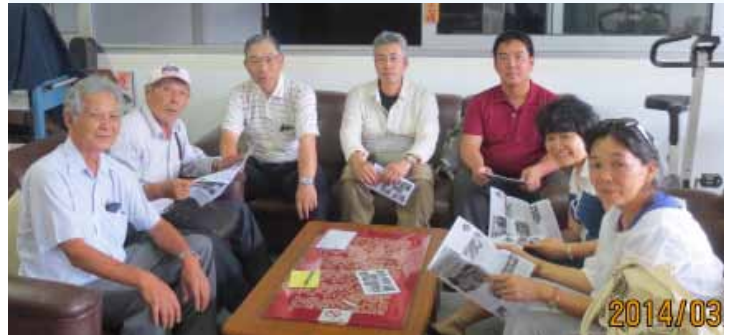
一行は高橋さんの案内で、折から開催されている「カーニバル」を鑑賞。翌3日の便で帰国の途についた。

伊藤栄喜さんと再会した、親戚モジ在住のエウジェニアさんは、イグアス移住地在伊藤勉さんの奥さんアンナさんの姉だとのこと。また、アルゼンチン出身(名前を聞き洩らした)の日系女性は、サンパウロに嫁いでいる。

帰国後一行は、高橋敏彦北上市長を訪問、農業視察研修の報告と共に、2015年のピラボ県人会55周年に高橋市長への出席要望があったことを伝えた。

後日、北上市和賀町藤根の田鎖満さんが来館し、伊藤栄喜さんの父親名は「栄美」さんで、小学校の先生で在学中可愛がられたという。先生は20数年前来伯時に田鎖さんがブラジルを案内したという。

田鎖さんの思い出を伊藤さんに連絡したところ、間違いな父は藤根小学校の先生だった。ブラジルも訪問し本人は2008年に82才で亡くなったと連絡があり、田鎖さんにつたえた。田鎖さんは3月31日に訪日。4月中頃北上市に行くので連絡してみようとのことでした。



右手前が、エウジェニアさん、次いでアルゼンチン日系人

VISITAS NO KENJINKAI

02/03 – Sr. Eiki Ito de Kitakami-shi ,Iwate-Ken, juntamente com o Srs. Kazunari Kanno e Kazutaka Yaegashi. Eles vieram visitar as plantações de soja no Paraguai e Brasil.



写真(敬称略) 左から平野あけみ、三枝たか子、三枝守、千田照子、千田曠暁、藤村光夫、平野稔、多田マウロ、

3月29日(土曜)、三枝たか子さんと、今回初めて来伯された旦那さん「守さん」が挨拶に来館した。

自閉症指導専門家

三枝たか子先生来伯

三枝さんはウルグアイ滞在中も含め4回目で、サンパウロでは日伯援護協会(菊地義治会長・一関)の、自閉症児童教育施設「青空学級」指導員の教育専門家である。皆さんとの再会や思いでを語りあった。

旦那さんの守さんは、定年退職され自由な立場で奥さんをサポートしながら、ブラジルを見聞たいと語っておられた。尚、今回は11月まで滞在されるとのこと。

29/03 – Sra. Takako Saegusa e esposo. Sra. Takako veio novamente ao Brasil como voluntária Senior da JICA, para trabalhar na entidade PIPA (Enkyo) que cuida de crianças tistas.

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil
 岩手県人会
 Rua Thomaz Gonzaga 95 - M - Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020
 TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br
 岩手県人会ニューズ 185号 2014年5月発行



県人会活動今後の予定

Atividades de Iwate - Kenjinkai

5月18日（日） 第10回東北6県北海道ブロック運動会

場所 (Local) Colégio Santa Amália

Rua Fiação da Saude 480 Metro Saude SP

5月25日（日） 午前11時より、県人会恒例の第8回

「わんこそばまつり」が行われます。会場 岩手県人会館

前売り券 R\$ 18.00 県人会でどうぞ 当日 R\$ 20.00

8° Wanko - Soba Matsuri dia 25/5/2014 11 a 16h

Local A C A IWATW - KENJINKAI

Rua Thomaz Gonzaga 95 - 1 andar Liberdade SP

7月4日・6日「第17回日本まつり」出店

場所 イミгранテ展示場

17° Festival do Japão dia 4 a 6 de Julho

Local Exposição de Imigrante

**いわて名物
わんこそばまつり
8° IWATE KENJINKAI
WANKO SOBA MATSURI**

COMPETIÇÃO QUEM COME MAIS SOBA EM 3 MINUTOS

SOBA A VONTADE DURANTE O EVENTO. ACOMPANHA UMA PORÇÃO DE GYOZA.

DATA: 25 (Domingo) de maio de 2014
 HORÁRIO: das 11h às 15h
 LOCAL: ACA Iwate Kenjinkai
 Rua Thomaz Gonzaga, 95 - 1º andar - Liberdade/SP
 CONVITE: R\$18,00 antecipado / R\$20,00 no dia

場所 岩手県人会 期日 2014年5月25日(日)
 そば出汁は美味しい当会の特製です
 競技の部は3分間で何杯食べるかを競います
 「そば」は食べ放題で、餃子一皿付き
 競技申込み 前売り券は岩手県人会へどうぞ
 前売り券 R\$ 18.00 当日券 R\$ 20.00

PATROCÍNIO

END: Rua Eng.º 575 - 18º Pôr. - Tel. (11) 207-4218